
令和5年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和5年2月20日

質問者（質問順）

1 川 口 広 委 員 (自 民 党)

2 山 下 正 人 委 員 (自 民 党)

3 山 浦 英 太 委 員 (立 憲 党)

4 仁 田 昌 寿 委 員 (公 明 党)

局 別 審 査

1 川 口 広 委員（自民党）

1 予算編成の基本的な考え方について

- (1) 現在の国際情勢等を踏まえて国際局に求められる役割をどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 令和5年度国際局予算のポイントについて伺いたい。

2 第9回アフリカ開発会議（T I C A D 9）誘致について

- (1) チュニジアのスファックス市との今後の交流について伺いたい。
 - (2) T I C A D 9 の誘致推進に向けた機運醸成の取組について伺いたい。
 - (3) 「GREEN × EXPO 2027」をはじめ大規模国際イベントは、海外に横浜をPRする絶好の機会だと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (意見) 横浜市ブランド力を上げていくことが「住みたい・住み続けたいまち」と愛着につながると考えるので、ますますPRをしていただきたい。

3 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出について

- (1) 市内で活躍している海外出身のクリエイターの現況について伺いたい。
- (2) 海外人材の呼び込みに当たり、アニメ等のコンテンツ産業で活躍する人材もターゲットの一つとして誘致に力を入れていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 海外活力の取り込みにより本市の成長・発展を実現するためには、旧上瀬谷通信施設等のまちづくりとも連動した総合的な視点が必要と考えるが、見解を伺いたい。

4 多文化共生の推進について

- (1) 中期計画に「多文化共生の推進」が政策として位置付けられたことの意義に

ついて伺いたい。

(2) 多文化共生施策の推進に当たっての課題について伺いたい。

(3) 日本人と外国人の双方にメリットがある多文化共生施策を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 ウクライナ支援について

(1) ウクライナ国旗カラーによる市庁舎ライトアップの意義について伺いたい。

(2) 市庁舎ライトアップの概要について伺いたい。

(3) オデーサ市へのこれまでの現地人道支援における、JICAや市内企業との連携状況について伺いたい。

(4) 令和4年度にオデーサ市へ供与した支援物資の現地での活用状況について伺いたい。

(5) 今後のウクライナ支援の方向性について、副市長に伺いたい。

(要望) 言葉による意思疎通が難しい場合でも、日本の豊かな文化を生かし、心の交流をしていただければと考える。今後もウクライナへの支援を横浜市がしっかりと行っていただくことを要望する。

1 世界を目指す若者応援事業について

- (1) 世界を目指す若者応援事業の意義について伺いたい。
- (2) 高校生の当事業に対する認知度向上に向けた取組について伺いたい。
- (3) どのような人材に当事業を活用してほしいか伺いたい。
- (4) 当事業を継続するうえでの課題について伺いたい。
- (5) 当事業への寄附を増やすため、ふるさと納税総合サイトにおける記載を工夫すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 留学後の学生に対して期待することについて伺いたい。

2 Y-P O R T 事業の脱炭素について

- (1) Y-P O R T 事業における脱炭素分野の実績について伺いたい。
 - (2) 国の二国間クレジット制度の概要及びY-P O R T 事業における二国間クレジット制度の活用状況について伺いたい。
 - (3) 二国間クレジットによる温室効果ガス排出削減量が自治体に配分されない理由について伺いたい。
 - (4) Y-P O R T の脱炭素事業から得られる二国間クレジットの認証削減量が横浜市にも配分されるように国に強く働きかけるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) Y-P O R T の脱炭素事業において、スタートアップ企業にもチャンスを提供すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 脱炭素条例は市内企業が活躍できる場を作っていくことも視野に入っているので、ぜひよろしくお願ひしたい。

3 国際的人権問題について

- (1) ロシアによるウクライナへの侵略に対する本市の見解について伺いたい。
- (2) ウイグル人の人権問題をどのような問題と捉えているか伺いたい。
- (3) 上海市と長い友好関係を持つ横浜だからこそ、ウイグルの人権問題には懸念

を表明する必要があると考えるが、見解を伺いたい。

(4) 拉致問題を風化させないための取組について伺いたい。

(要望) 拉致問題の所管は市民局であるが、国際局の職員一人ひとりも拉致問題に対する正しい認識を持っていただきたい。特定失踪者の中には横浜市民も含まれており、拉致問題を我が事として捉えることを、全市を挙げて取り組んでいただきたい。

4 海外事務所の今後の役割について

(1) アジア事務所の取組の方向性について伺いたい。

(2) 海外からの投資・人材の取り込みを行う上で、海外事務所をどう活用するのか伺いたい。

(要望) インドは人口・成長率共に期待が持てる国であり、本市も積極的にインドの成長を捉えてほしい。また、アジア・アフリカの成長をいかに横浜の国際事業に取り込むかが重要であり、積極的に取り組んでいただきたい。

5 パスポート交付事業について

(1) パスポートのオンライン申請の意義について伺いたい。

(2) パスポートの不正取得防止策について伺いたい。

(意見)「横浜市のパスポートセンターは、もてなしなどが素晴らしい。県から事務を移譲されて良かった。」と言われるような、パスポート交付事業であってほしい。

3 山 浦 英 太 委 員 (立 憲 党)

1 世界を目指す若者応援事業について

- (1) 個人留学プログラムの応募資格について伺いたい。
- (2) 学業成績を応募資格に設ける理由について伺いたい。
- (3) 学業成績の基準の根拠について伺いたい。
- (4) 今後は、国際局、こども青少年局、教育委員会とも連携を強化して、貧困家庭における子ども、ヤングケアラーの子ども、子どもたちが置かれている情報の共有を行いながらこの事業に取り組むべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (5) 学業成績を応募資格に設けない他の選考枠も設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 学業成績を応募資格にしていることについて、見直しを早急に行うことを要望する。また、貧困家庭やヤングケアラーの子どもたちにも、横浜市は留学のチャンスを与えているという姿勢を示すことで、寄付金も集まりやすくなると考える。

2 Y-P O R T 事業について

- (1) 海外インフラビジネス支援の活動内容について伺いたい。
- (2) 海外インフラビジネス支援におけるY-P O R Tセンター公民連携オフィスG A L E R I Oの機能について伺いたい。
- (3) G A L E R I Oにおける海外からの来訪者との交流実績について伺いたい。
- (4) 令和5年度の海外インフラビジネス支援の取組について伺いたい。
- (要望) グローバルな取組であるY-P O R T事業を推進することにより、横浜市の存在感をしっかりと世界に示せるよう、今後も高い目標を掲げて取り組むことを要望する。

3 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出について

- (1) 国際局として海外活力の取り込みに向けたこれまでの取組状況について伺いたい。
- (2) 本事業の推進に向けた国際局の役割について伺いたい。
- (3) 「世界の人材や企業の結節点となる国際コンベンション」の具体的なイメージについて伺いたい。
- (4) 本事業に対する意気込みについて伺いたい。
- (意見) 新たな事業を通じ、横浜が世界から選ばれる都市として、一層飛躍させていくことを期待している。

4 市内国際人材の育成について

- (1) 市内国際人材育成の取組状況について伺いたい。
- (2) 海外勤務経験がある職員の配置について伺いたい。
- (3) 職員のモチベーションを上げるための国際人材育成の取組について伺いたい。
- (意見) 海外出身の多様な人材に、今まで以上に市役所で活躍してもらうなど、一層積極的な取組を進めていただくことに期待している。

5 外国人への差別解消の取組について

- (1) 外国人の人権のために国際局が果たす役割について伺いたい。
- (2) 外国にルーツがある子どもへの取組について伺いたい。
- (3) 外国人への支援だけでなく、受入れ側の日本人への意識啓発の取組が重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) ロシアの暴挙は非難されるべきものだが、ロシア国籍の市民に対する憎悪・中傷にすり替わることがあってはならない。特に子どもがこのような攻撃の対象になることは、大人の責任において絶対に許してはならない。

6 ウクライナ避難民への相談対応について

- (1) 横浜に避難されたきっかけについて伺いたい。
- (2) 令和5年度のウクライナ避難民への相談支援体制について伺いたい。
- (3) 避難民からの具体的な相談内容について伺いたい。

(4) 相談に対する支援方法について伺いたい。

(要望) 避難民へのきめ細やかな取組が地域の中にもっと広まっていくことで、多文化共生社会の推進にもつながり、日本人の人権意識も高まっていくと考える。令和5年度も避難民一人ひとりに寄り添ってサポートしていただきたい。

4 仁 田 昌 寿 委員（公明党）

1 ウクライナ避難民支援について

- (1) ウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」のこれまでの取組への評価について伺いたい。
- (2) 令和5年度の避難民支援の進め方について伺いたい。
- (3) 避難生活が中長期化する中、避難民の“活躍”をサポートする取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 避難民への支援と現地への人道支援を、引き続きしっかりと進めていただくことを期待している。

2 多文化共生の推進について

- (1) 在住外国人の生活面での困りごとをどのように捉えているか伺いたい。
- (2) 精神的な悩みを抱える外国人の方々への医療面でのサポートについて伺いたい。
- (3) 多文化共生社会への取組が活発な民間団体との共創の取組や支援について伺いたい。
- (4) 市内の外国人材の在留状況について伺いたい。
- (5) 海外からの人材の呼び込みを進めるうえで、満足度調査等による継続的なニーズの把握が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 今後の多文化共生への具体的な取組について伺いたい。
- (7) 多文化共生を推進する組織体制をさらに強化すべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (意見) 本市の多文化共生の推進を担う組織体制をしっかりと整備することで、施策を加速させることはもちろん、国際局を持つ都市として、多文化共生に取り組む姿勢を内外にしっかりと印象付けるイメージ効果もある。

3 横浜上海友好都市提携50周年

- (1) 50周年事業の具体的な内容について伺いたい。

(2) 50周年を機に、東アジアの平和と安定へ貢献する決意について伺いたい。

(意見) 50周年という大きな節目を契機に、両市の友好関係を一層進化させていくことを大いに期待している。

4 国際協力の推進について

(1) 横浜国際協力センターに入居する国際機関との連携実績について伺いたい。

(2) 市内大学と国際機関との連携実績について伺いたい。

(3) 市内企業やNPO法人と国際機関との連携実績について伺いたい。

(4) 国際機関によるトルコ南部地震被害への支援状況について伺いたい。

(5) 海外で災害が発生した際に国際局としてどのような支援状況を行っているのか伺いたい。

(6) 国際機関と本市のさらなる関係強化に向けた考えについて伺いたい。

(要望) 国際機関との連携が世界の平和と発展への貢献につながるものとする。

今後も国際機関との連携を一層進め、新たな取組を創出していただくことを要望する。

5 国際都市・横浜の実現

(1) 世界情勢が大きく変化する中、今日の横浜が目指すべき国際都市像及びその実現に向けた意気込みについて、副市長に伺いたい。

(意見) 本市の持続的な成長・発展のためには、「選ばれる国際都市・横浜」になることが必要不可欠であり、その実現には、国際局がその中心的な役割を担い、市を挙げて取り組むことが重要である。